

Acanthus

金沢大学広報誌 | アカンス

【特集】 金沢大学の知の息吹 P.2 / 学生インタビュー P.13 /
【連載】 図書館へ行こう P.14 / 金沢大学の大学院 P.16 / 学生
留学生宿舎「先魁」・金沢大学基金 P.18 / サークル紹介 P.19 /
ニュース & トピックス P.20 / DATA NOTE P.22 / イベント
カレンダー P.23



No. 26

金沢大学の知の息吹

金沢大学というフィールドでさまざまな学問に触れ、興味関心を広げ、自分の可能性を最大限に発揮する学生たちの姿を紹介します。



CONTENTS

- 入学生たちの息吹 P 4
- 未来に向かって、今を頑張る金大生 P 6
- 社会で活躍する卒業生 P10
- 「知の息吹」を育む金沢大学のサポート P12

The Breath of Intelligence at Kanazawa University

Kanazawa University Charter states that "Kanazawa University shall respect the individuality of students as well as their right to learn, having self-study as the basis of education.", and the university supports the spontaneous activities done by students. This is a brief introduction of the students who are stimulated by touching various studies, expand their interests, and perform their potential maximally in the learning field, Kanazawa University.

人口あたり的高等教育機関数や学生数が全国屈指の「学都」です。2006年に石川県内の全ての高等教育機関が連携した「大学コンソーシアム石川」も設立され、地域をあげて学生たちの学びを支えています。さらに、09年には金沢市で「学生のまち推進条例」が制定。学生はボランティアなどの活動をおとしてコミュニティの一員となり、地域の活性化にも貢献しています。

2012年に淵源から数えて150年という節目を迎えた金沢大学。次の150年を築く「知の息吹」が、数多く聴こえています。

「学都」が支える学び

また、本学が位置する金沢市は、江戸時代から天下の書府とも呼ばれ、金沢大学は、21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に寄与するため「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を基本理念に掲げています。次世代を担うグローバルな人材を育成する取り組みとして、日本人学生と留学生がともに学ぶ多文化共生の機会を多く用意しています。留学生受け入れ支援により、キャンパスにしながら国際感覚を養うことのできる環境を醸成。世界に目を向けた学生たちは留学、海外派遣インターンシップやキャリア研修プログラムなどを利用し、国際的な舞台へと飛び出しています。

多文化共生の土壌

現在、金沢大学には1万人以上の学生が在籍しています。本学は大学憲章で「学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする」ことをうたい、学生の自発的な活動を支援しています。2008年には従来の学部学科制より広い枠組みの教育組織である「3学域・16学類」を導入しました。また、主に2年目に専門分野を選ぶことができる「経過選択制」や、自らが興味や関心のある分野に学びを広げることができる「主専攻・副専攻制」により、学生の主体的な学びを支援しています。

希望を見つけ希望をかなえる



社会福祉士の資格を取って
児童施設をつくりたいです。

樋口 由梨那さん
地域創造学類 [山形県出身]



地元の過疎化や少子高齢化を
少しでも防ぎたいです。

宮崎 和大さん
経済学類 [三重県出身]



理想の看護師になるための
知識や技術を身につけたいです。

林 里奈さん
保健学類 [石川県出身]



明日につながる
自分でありたいです。

山崎 健之朗さん
環境デザイン学類 [京都府出身]



医療現場で活躍できる
放射線技師になりたいです。

松井 亮太さん
保健学類 [福井県出身]



幅広い化学の知識を身につけ
基礎化粧品の研究に携わりたいです。

齊川 夏美さん
物質化学類 [福井県出身]



外科医になって多くの患者さんを
助けたいです。

下 優太郎さん
医学類 [石川県出身]

入学生に将来の夢を
聞きました！



宣誓文を読み上げる高橋さん

Kanazawa University Entrance Ceremony

On April 7th, Kanazawa University held its Entrance Ceremony 2013, and about 2,700 students enrolled in Colleges, Schools, Graduate Schools and One-year Undergraduate Course.

New students and a lot of their family members attended the ceremony at Ishikawa Sports Center especially because it was held on Sunday.

に駆けつけ、早速サークルの勧誘が行われるなど、にぎやかな光景が見られました。

続いて、学域を代表して人間社会学域の高橋堯さん、大学院を代表して人間社会環境研究科の村澤佑介さんが入学の決意を宣誓。校歌や金沢大学フィルハーモニー管弦楽団による祝典演奏が響く中、新入生はこれからの決意を新たにしました。

閉式後には、先輩たちがお祝い

を伝えました。

続いて、学域を代表して人間社会学域の高橋堯さん、大学院を代表して人間社会環境研究科の村澤佑介さんが入学の決意を宣誓。校歌や金沢大学フィルハーモニー管弦楽団による祝典演奏が響く中、新入生はこれからの決意を新たにしました。

閉式後には、先輩たちがお祝い

を伝えました。

続いて、学域を代表して人間社会学域の高橋堯さん、大学院を代表して人間社会環境研究科の村澤佑介さんが入学の決意を宣誓。校歌や金沢大学フィルハーモニー管弦楽団による祝典演奏が響く中、新入生はこれからの決意を新たにしました。

閉式後には、先輩たちがお祝い

入学宣誓式

平成25年度入学者数

学域・学類 1,857名
大学院 784名
別科 37名

計 2,678名



先輩がサークル勧誘



真剣なまなざしで式に臨む入学生



祝典演奏で入学生を歓迎



告辞を述べる中村信一学長





人間社会学域 国際学類2年
福田 真優さん
FUKUDA Mayu



日系企業を見学 (上は蘇州, 下は上海の企業)

世界に出て、自分を知る

実際に見て、肌で感じる

もともとアジア、とりわけ韓国と日本の交流に興味があった私は、大学の掲示板で国際交流基金※1の延辺サマープログラムを知り、参加を決めました。延辺は中国北部にある朝鮮族自治州で、農村のイメージを持っていましたが、実際はビルが建ち並び、「私が住んでいるところよりずっと都会だ」と驚いたことを覚えています。先入観にとらわれず、実際に目にし、肌で感じるが大切だと思いました。

その後、もう一度異なる文化を体験したいと思っていたとき、上海を訪れるトレニー派遣プログラム※2を知りました。海外で日系企業を見学する機会は滅多にありませんし、ぜひ参加したいと思い、応募しました。

企業見学で印象的だったのは、中国でも品質管理を徹底していたこと

です。初日に、訪問先の駐在員の方から「中国の消費者は値段が安いことを重視し、日本の消費者は品質を重視する」と聞き、価値観の違いがあることを知りました。そのため、中国では品質よりコスト重視で製造していると思っていたのですが、日系企業が品質の良さを強みとして、中国経済で差別化を図っていることに驚きました。



トレニー派遣プログラム参加メンバー

もっと貪欲に、積極的に！

また、このプログラムでは、質疑応答で積極的に発言する参加メンバーや、日本に来たことがないのに当然のように日本語を話す上海大学の学生からとても刺激を受け、もっと貪欲になろうと心に決めました。

その後、韓国語を習得するために、ハングル検定4級を受験しました。今年の夏休みは韓国・仁荷大学のサマープログラムに参加し、来年は派遣留学で韓国に行くことを計画中です。将来はまだ漠然としています。が、国際交流基金のような機関で国際交流の企画に携わるなど、韓国と日本の民間交流事業に従事したいと思っています。そのために、今できることにどんどんチャレンジしていきたいです。

※1 文化芸術交流や日本語教育などを通じ、国際文化交流事業を実施する日本の機関。
※2 support file参照

街を歩き、街づくりを考える



市内にある「まちのり」サイクルポート

調査実施と成果が自信に

私が所属する環境デザイン学類では、構造物や水工学、都市計画、建築・設計、環境工学や防災など、幅広い分野を学ぶことができます。この調査に参加したメンバーも専門はさまざま、アンケートで得た多くの意見から、改善策を考える際にも多角的な分析が行え、今回の提案につながりました。

大規模なアンケート調査は費用がかかるうえに、一人で行うことは困難です。大学からの助成、そしてゼミのみんながいたからこそ、できた研究だったと思います。また、歴史ある金沢の街を実際に歩き、都市計画や街づくりを学べたことは貴重な経験でした。

卒業後は、自治体で土木系の職に就きたいと考えています。

※1 自転車シェアする金沢市のサービス。街なかに設置されたサイクルポート(貸出・返却拠点)およびまちのり事務局など、どこでも自転車の貸出・返却ができる。貸出場所と違うポートにも返却可能。
※2 support file参照

決まっていたこともあり、2000通のアンケートを1軒1軒のポストに投函し、広く意見を募集。300件以上の回答を回収することができました。その結果、「まちのり」自体は知られているが、ポートの場所がバス停周辺やスパーなど、身近な場所の近くにないことが分かりました。また、実際に「まちのり」に乗ってみると、坂の多い場所での利用が難しいことを実感しました。

そこで、サイクルポートを日常生活で利用する場所に設け、公共交通機関と組み合わせて移動できるモデルを考えました。さらに、「まちのり」と公共交通機関で共通して利用できるICカードの導入など、地域住民の利用を増やすためにさまざまな改善案を考えました。

街を歩いて見えたこと

都市計画や街づくりに興味があり、ゼミで金沢市公共レンタサイクル※1(まちのり)を調査することに。観光客の利用が多い「まちのり」を地域住民に利用してもらうために、何が必要かを考えました。

まずは、なぜ利用されないのかを調べるために地域住民の方々の意見を集めました。ゼミの先生の紹介で応募した学長研究奨励費※2の交付が



理工学域 環境デザイン学類4年
松山 香織さん
MATSUYAMA Kaori



研究結果を
まとめて発表

The Importance of Seeing and Feeling by Yourself

I have participated in some overseas programs. When I visited a Japanese company in Shanghai, I was surprised that they were differentiating their products within the Chinese market utilizing the high quality of their products as their advantage. I was inspired and motivated by the other participants as well as local students, and it made me want to challenge many things that I can do right now. I plan on visiting South Korea as part of the Summer Program this summer vacation, and next year, I plan on participating in the Exchange program to South Korea.

Support file.2

トレニー派遣プログラム

北陸銀行との包括的連携協力協定に基づき、平成21年度から実施している海外キャリア研修プログラム。書類審査や面接などの選考を経て派遣が決定した学生は、中国にある日系企業の現地視察をとおして国際感覚を養います。

◆問い合わせ
学生部就職支援室 TEL (076) 264-5265

派遣留学プログラム

海外の交流協定校へ互いに学生を派遣し、受け入れ学生の授業料を免除する制度で、留学期間は修業年限・在学期間に含まれます。また、多くの学類で、留学先にて取得した単位を卒業に必要な単位に数える「単位互換制度」を利用できます。

◆問い合わせ
国際機構支援室 TEL (076) 264-6193

Kanazawa University Students Working Hard Now for the Future

Considering Community Building By Walking Around the City

I conducted a questionnaire study with my seminar group members in order to encourage the local residents to use the Kanazawa City Public Rent-a-Cycle program more frequently. By listening to the opinions of the local residents, I was able to present a variety of proposals that would improve the program. It was a valuable experience to learn about urban planning and community building by walking around the city. I hope to work in civil engineering area at a local government after I graduate.

Support file.1

学長研究奨励費

卒業研究などの本格的研究に入る前の学生課程学生を対象に、日頃の学習や生活の中で興味や関心を抱いたさまざまなテーマを募集し、研究に必要な物品などを助成する本学の制度です。

テーマは自由で、グループでも応募可能。研究期間は1年または2年間。2012年度は

26件の応募があり、12件を採択しました。研究期間終了後には、広く市民の方にも研究結果を知ってもらうため、市内で発表会を開催しています。

◆問い合わせ
学生部学務課教務係 TEL (076) 264-5160



人間社会学域 人文学類3年

佃 侑果さん
TSUKUDA Yuka



アフリカの子どもたちの給食

持続可能な途上国支援を

社会のためにできることは
身近なところにある

大学生になったら、自分のためだけでなく、社会のために何かしたいと思っていました。でも、漠然としていて、具体的に何をしたらよいのか分からずに、やる気を持て余していたんです。ボランティア活動は、高い志と特別な知識や技術を持っている人たちの活動というイメージがあつてなかなか踏み出せずにいました。

ボランティアサークル「E.P.（えん）」に入ったのは1年生の11月。このサークルが推進しているTFT*という取り組みを知って、

めざせ北陸の中心！

「これだ！」と思ったんです。健康に配慮した食事を食べることで、生活習慣病の予防につながり、食べるごとに途上国に寄附金が送られるため、現地の子どもたちの給食支援ができ、双方にメリットがある。「食べる」という、誰もができることで成り立つ活動に、「なんて素晴らしい仕組み！」と感動。一歩が踏み出せたんです。

TFTは一般にまだまだ知られておらず、まずは学生に知ってもらうことから始めました。金大生協で交渉を重ね、昨年7月と今年1月に期間限定で導入が実現しました。いずれも1000食以上を販売。TFTに関心を持ってくれた人たちがいることを実感でき、今後の活動の励みとなりました。

また、「食べる」ところからスタートする支援リレーのバトンが、果たして現地の子どもたちにつながり届いているのかの思いから、今年



寄附による給食を食べる子どもたち

5月、給食支援が行われている現地（主に東アフリカ地域）を視察し、この目で確かめてきました。そして、TFTの取り組みについて、より理解を深めてもらうために、学内で報告会を行いました。私が「E.P.（えん）」に入ったのが、この報告会で話を聞き、興味を持ったことがきっかけだったので、準備にも力が入りました。

今後は県内の大学や企業にもTFTの導入を進めたいと考えています。現在、地元企業による飲食店へTFTメニューを導入できないか、交渉しているところです。この活動が、まずは北陸地域で持続可能な支援となるよう、頑張っていきたいと思っています。

*TFT(NPO法人TABLE FOR TWO International)（略称）
発展途上国の飢餓と先進国の肥満・生活習慣病の問題を同時に改善するため、先進国で販売する食事の代金を一部を途上国の給食支援に充てる活動。2007年に日本から始まり、海外にも広まっている。

薬学の新たな魅力と出会う



アカンサス薬局での実習

学類選択をきっかけに
実習の重要性に気づく

薬学類・創薬科学類では、薬剤師をめざす薬学類と研究者をめざす創薬科学類のどちらかを3年生後期で選択します。私は薬学類に進みましたが、入学当初は決めていませんでした。大学教員になることも

考えていたので創薬科学類も選択肢でした。転機となったのは、「臨床現場で学ぶことも重要」という先生の一言。薬学類では、5年生から約半年間かけて薬局や病院での実務実習があります。研究者をめざすにしても、現場でどのように「薬」と「人」が関わっているかを学ぶことができる実習は役に立つ、というアドバイスでした。将来の可能性を広げる選択につながったのではないかと思います。

経験が将来を考える好機に

実習では、毎日が「講義で学んだことが、こう活きるんだ！」という驚きの連続です。薬に触れるのも患者さんと接するのも初めて。現場では、処方内容の妥当性を判断したり、一人ひとりに合わせた服薬指導をしたりと、臨機応変な対応が求められます。その場での確に判断する

ためには、実践的な技術や能力が重要だと実感しました。

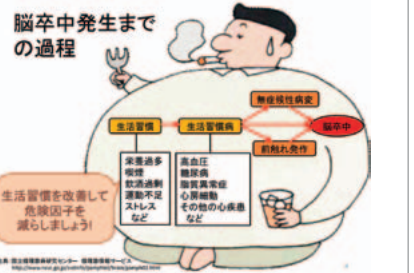
アカンサス薬局では、担当の先生がフォローに入り、現場でのノウハウを丁寧に指導・補助してくれました。実習を経験する中で、毎回生きた勉強ができていと感じます。今は薬剤師として働くことにも魅力を感じていますし、学類の講義で薬事法を学んだことがきっかけで薬事行政にも興味がわきました。

ここでの実習を終えると、次は、市中薬局に移ります。薬局実習はあと数カ月続きますが、今後さらに新たな薬学の魅力に出会えるでしょう。じっくりと実習に臨み、自分の未来の姿を見つけていきたいです。



医薬保健学域 薬学類5年

松下 俊介さん
MATSUSHITA Shunsuke



実習の一貫でポスターを作成



Support file.3

アカンサス薬局

学習計画(シラバス)に沿った実務実習の実施をはじめとする、大学機能を兼ね備えた保険薬局として、平成15年2月に開局。日本で初めての、NPO法人が運営する保険薬局で、教育・研修を主目的とし、本学の薬学系教員が薬局長やサポート要員として関わっています。

薬学類生は5年生になると、まずアカンサス薬

局にて4週間実習を行い、その後市中薬局にて7週間、さらに本学附属病院にて11週間の実習に臨みます。薬局の社会的役割と責任を理解し、医療機関や地域との関わりを学ぶなかから、薬剤師としての基本的知識、技能、態度を習得します。

◆問い合わせ
アカンサス薬局 TEL(076)265-7602

Encountering Ever New Allures of Pharmacology

I am currently interning at Acanthus Pharmacy (a health insurance pharmacy where students can intern, which was established for the purposes of educating Kanazawa University students). While interning, I'm able to learn and encounter "real life" experiences. Once the course here is complete, I will be interning at pharmacies or hospitals in Kanazawa City. In this coming six months, I may be able to encounter ever new allures of pharmacology.

Support file.4

ボランティアさばーとステーション (通称:ボラさば)

学生が主体的に実施するボランティア活動の支援、各種ボランティアの募集に関する情報の収集および発信を目的として、2006年に発足。学生、教職員が構成員となり、学内・学外の他のボランティア団体と連携しながら活動しています。ボランティア講習会の

開催や情報提供なども行っており、12年3月からは、学内向けポータルサイト「アカンサスポータル」を通じ、学生が希望に合うボランティア活動を検索して参加申込や情報収集ができるサービスを開始しました。

◆問い合わせ
学生部学生支援課学生相談係
TEL(076)264-5168

Providing Sustainable Support to Developing Countries

I take part in Table for Two (TFT is a program that donates a portion of the sales of meals in developed countries to support the providing of meals in developing countries) in a volunteer club at the university. In May of this year, I visited a region in East Africa that was a recipient of the donations from TFT. I would like to expand the activities of TFT as a part of ways for Kanazawa University to provide sustainable support to developing countries.



産業振興で石川県をより元気に

自治体の活性化と 産業振興との関係を学ぶ

高校生の時から金融や商業に興味があり、大学で経済学を学びたいと考えていました。将来は地元での就職を希望していたので、地域に根差した金沢大学を選択。経済学部では金融、地方財政、経済原理など、多岐にわたる分野を学ぶことができました。

自治体で働くという将来の具体的な目標が定まったのは3年の時。学長研究奨励費（P6※2）に採択され、「新潟県上越市の合併」をテーマに、市町村合併の弊害やその対策について研究しました。研究に取り組んで実感したことは、自治体にとって「財政」と「企業からの税収」

石川県商工労働部経営支援課
金融グループ 主事

中嶋 翔太さん

NAKASHIMA Shota

経済学部卒

がかなり重要であるということでした。さらに、企業が存在は自治体の雇用創出、人口増加にもつながるため、自治体の活性化に産業振興は不可欠だと感じました。この研究がきっかけとなり、卒業論文でも「石川県白山市の合併」を研究テーマに選びました。

合併の研究や石川県商工労働部へのインターンシップの経験から、地元である石川県の産業振興に従事したいと思い、金大生協が実施している公務員試験対策講座を活用して、石川県職員採用試験に合格。インタ



現在の業務にやりがい

ンシップの経験が活かされたのか、志望していた商工労働部に配属が決められました。

企業支援にとどまらず 地域活性の広い取り組みを

配属先の商工労働部経営支援課の金融グループでは、消費者金融への指導・監督を担当することになりましたが、相手方は専門家であり、自分よりも知識が豊富。でも、立場上「わからない」とは言えず、必死に勉強しました。指導・監督という業務の性質上、確かな知識をもって対応をする必要があります。常に緊張感が伴います。しかし、それだけ責任ある仕事で、やりがいを感じています。

今は自分の仕事に精一杯取り組みながら知識を得て、「あの人に聞けば、商工労働部のことがわかる」と言われることが当面の目標です。そしてゆくゆくは企業支援に限らず、石川県をより元気にする取り組みに携わることができればと思っています。

Support file.6

公務員試験対策講座

金沢大学生協とのタイアップにより、在学生・卒業生を対象とした「公務員試験対策講座」を開講しています。学内の教室を使って行う約1年間の総合講座で、公務員試験に必要な主要科目を網羅し、じっくりと確実に実力をつけることができます。受講料は市価より低額。欠席時や復習のために、講義DVDを無料で貸し出すなどのサポート体制

も充実。オリジナル模擬試験や進路ガイダンス、模擬面接なども実施しており、きめ細かな指導は毎年の受講者から好評を得ています。

本学からの公務員試験合格者数は、全国の大学の中でも例年上位にランクインしており、優れた実績を誇る名物講座です。

◆問い合わせ

金沢大学生協 公務員試験対策講座事務局
TEL (076) 224-0905

Making Ishikawa Prefecture Even More Energetic Through Industrial Development

I became interested in industrial development by local governments during my research when I was attending Kanazawa University. That led me to apply for a position of prefectural personnel of Ishikawa Prefecture, my hometown. I passed the employment exam and was assigned to the Commerce and Labor Department, my first choice. Within the department, I am responsible for the guidance and supervision of consumer finance companies. In the future, I hope to revitalize Ishikawa Prefecture from variety of perspectives to make it even more energetic.

自作アプリから膨らんだ地域貢献の目標

ターニングポイントとなった 利用者からの声

高校生の頃からプログラミングが好きでした。「石川バスビューワー※1」は、今より便利で簡単にバス時刻の検索ができないかと考え、学部4年生の頃から自分用として作り始めたものです。公開時は、反応が予想以上でとても驚きました。このアプリに利便性を感じてくれる人たちがいるんだと、実感することができたんです。利用してくれる人たちの存在に気付いたことが、私にとってのターニングポイントで、石川バスビューワーをより広く展開したい、と思うようになりました。

それまで起業は考えていませんでしたが、先生や研究室の先輩からの勧めもあり、「金沢クリエイティブベンチャーコンテスト※2」への応募を決めました。結果は、最優秀賞。大きな一歩を踏み出すことができました。

ITスキルを地域活性化に つなげたい

金沢市の支援を受けて、今年1月、アプリ開発会社を立ち上げました。準備は初めてのことばかりで、専門の知識だけでは歯が立たず、起業にかかわる会社経営などの分野をはじめ、幅広い知識と教養が求められることを実感しました。得意分野



コンテストの最終審査でプレゼン

を活かすためには、環境づくり、そして偏らずにさまざまな知識を吸収することが大切です。

このアプリがより広く知られるようになり、ユーザーである地元の方の反応が今までもより見えるようになったと、地域貢献への意識も高まりました。それに伴って、私のテーマも広がり、「便利」だけでなく、「地域が盛り上がる」ことをプラスしたものを作れないかと、考えるようになりました。例えば、観光スポットでスマートフォンをかざすと、位置情報などをもとに自動的にガイドランスが表示されるといったものなどですね。

私の強みであるITスキルを注ぎ込みたいと思える対象が見つかったんです。

※1 小野さんが開発した「石川県で運行されているバスの時刻表を簡単に表示する、スマートフォン用アプリ」。

※2 金沢市の起業支援の一環で、受賞者にはビジネスプランの事業化に向けた資金・環境面での支援がある。

Support file.5

アントレプレナーコンテスト

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）では、大学におけるベンチャー支援のためのさまざまな取り組みを進めています。

「アントレプレナーコンテスト」は、起業家を志す学生の教育を目的としたもので、応募してきた参加者は、VBLによるセミナーや個別指導を受け、企画案をブラッシュアップします。これらの過程には、アイデアを商品化する

るための企画案の立て方や、起業した時のビジネスプラン（事業戦略）、プレゼンテーション能力の習得方法などがあり、参加者は起業に必要なスキルとノウハウを学ぶことができます。

◆問い合わせ

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
TEL (076) 234-6874



株式会社BeqUem 代表取締役
自然科学研究科博士後期課程1年

小野 祐貴さん

ONO Yuki

工学部卒



「石川バスビューワー」
ロゴマーク



アプリの操作画面

Student Interview

電動車椅子サッカーチームで選手兼コーチとして活躍し、模擬授業サークル、塾講師もこなす。その原動力について聞いた。

学校教育学類 2 年

城下 歩 SHIROSHITA Ayumu



どんな時でも何かを得たい

城下さんは電動車椅子サッカーに出会ったのは9歳の時。父親が地域のサッカーチームの監督、母親が選手ということもあり、ごく自然に始めた。才能はすぐに開花し、2007年（14歳）には強化選手としてワールドカップ日本代表に同行、11年（18歳）には正式に代表に選出された。

だが、試合に出場することはできなかった。大会開始直前に規格変更があったからだ。障害の重度で出場資格を決める「クラス分け」が新たに採用され、実力とは関係のないところで出場がかなわなかったのだ。

「世界一になれるという自信があっただけに悔しかった」と城下さん。しかし、落ち込んでいたのはせいぜい30分だったという。選手ではないが、この状況でできることは何かを考え、大会を交流の場にしようと気持ちを切り替えた。多くの外国人選手と積極的に交流し、「試合に出るだけでは得られなかっただろう、国際感覚やコミュニケーション能力の重要性を学ぶことができた」。この時に知り合った外国人選手とは今でも交流が続いているという。「選手」ではなくてもサッカーに関わっていくことはできる。「次は、コーチングスタッフとして世界をめざしたい」とあくまで前向きだ。



日本代表合宿での練習試合（左が城下さん）

城下 歩 さん プロフィール

石川県出身。スケジュールはいつも、講義、サークル、アルバイトなどでギッシリ。寝る間も惜しんで楽しみながらこなす。きらきらした瞳が印象的で、「迷ったら進め」「悩むならとことん」がモットー。好きな色は情熱の赤。



サークルで模擬授業を行う城下さん

※ 先天的に骨が弱く、わずかな外力によって容易に骨折を起こす疾患。

「何か一つだけを頑張るのではなく、今やれることはすべて取り組みたい。すべて経験になります。時間があれば何かしたいんです」とバワフルな城下さん。どんな困難にも、「経験！」と明快に答えに進んでいくに違いない。



学びの環境

幅広い枠組みで入学し
学びの基礎を固める
「3学域・16学類」

基礎を学んでから
専門領域を決める
「経過選択制」

自らが興味や関心のある分野に
学びを広げることができる
「主専攻・副専攻制」

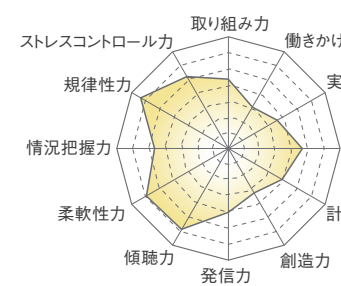
自分を知りたい

金沢就業塾

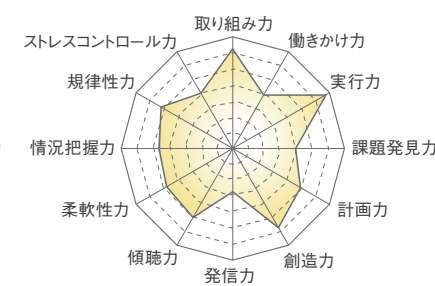
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/28.html>

学生が社会人として自立・自律していくために必要な「就業力」育成をめざすプロジェクト。『就業基礎力12の力』という本学独自のツールを使用し、自己の強み・弱みを分析。自分の望む進路に求められる能力を把握できます。また、それらの能力を伸ばすための、さまざまな学内イベントやセミナーに参加し、自律的に就業力を向上させることができます。

就業基礎力(金大生の平均)



企業の求める人材ニーズ



※これは一例です。

悩みごとを相談したい

学習支援相談所

http://library.kanazawa-u.ac.jp/clib/index.php?key=joffw19ii-12#_12

中央図書館が週2回開設する相談所。大学教育開発・支援センターの教員が学生の学習面での疑問や悩みに応え、学生一人ひとりに対してアドバイスやサポートを行います。「講義の受け方、ノートのとり方」、「資料や文献の探し方」、「プレゼンテーションの仕方」などの相談ができます。



なんでも相談室 -よるまっし-

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kiko/Nandemo/soudan.htm>

総合教育講義棟にある相談室です。“よるまっし”は、金沢の方言で「寄っていきなさい」「寄ってみませんか」という意味で、分からない事や困った事に対し、どんなことでも教員または学生ボランティアが相談に乗ります。話を聞いてアドバイスをしたり、必要に応じて他の窓口を紹介したりします。

学びの幅を広げたい

大学コンソーシアム石川

<http://www.ucon-i.jp/>

県内にある20の高等教育機関の連合体で、「学都いしかわ」で学ぶ学生をサポートするさまざまな事業を展開しています。金沢市中心部にあるしいのき迎賓館内にあり、加盟大学提供の単位互換授業（シティカレッジ）を開講。履修すると金沢大学の単位になります。県知事らによる「いしかわの行政」など特色ある授業や、企業の経営者・海外経験者らによる「国際ビジネスリーダー育成講座」、インターンシップ情報の提供などキャリア支援も充実しています。

まだまだあるサポート

詳しくは、学生支援サイト「K-WING」(<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/>)をご覧ください。

グループで学びたい

クリック アルファ

KULiC-*a*

(中央図書館ラーニング・コモンズ)

http://library.kanazawa-u.ac.jp/clib/?page_id=24

カフェが併設されたオープンなコミュニケーションスペース「ブックラウンジ」、グループ学習からプレゼンテーション演習まで多様な学習形態を支援し、創造力を生み出す「コラボスタジオ」、



コラボスタジオ

図書館が提供する情報のアクセスポイント「インフォスクエア」からなるオープンなコミュニケーションスペース。自学自習を支援します。また、医学図書館にも併設されています。

図書館へ行こう

③ 医学図書館リニューアル

医学図書館は、2013年3月にリニューアルオープンしました。進化した医学図書館について紹介します。



(1F) ブックラウンジ



(2F) グループスタジオ



(2F) オープンスタジオ

学習ニーズの多様化に対応

1970年の開館から43年を経た医学図書館は、この春、念願のリニューアルオープンを迎えました。近年の多様な学習スタイルに対応したさまざまな空間を備え、利用者自身が学習空間を自由に選べるのが特徴です。

「静」「継」「話」がキーワード

新しい医学図書館は、「静」「継」「話」の3つの学習空間に分かれています。

1階は、静かに学習できる「静」の空間。書架には、医学系の図書約1万2000冊がずらりと並びます。閲覧席は60席あり、窓際の席は緑豊かな中庭が見える癒しの場所です。また、自学自習に特化した研究個室や自習室もあり、集中して学習することができます。

知を継承する「継」の空間は、十全記念貴重資料室と書庫です。十全記念貴重資料室には、前身校から受

け継いできた医学図書「古医書」を収蔵。また、次世代に引き継ぐ多くの資料の保存スペースである書庫は、4階に設置。現在、倉庫としている3階も将来的には書庫として活用する予定です。

共同学習ができる「話」の空間としては、各種スタジオがあります。「オープンスタジオ」は、人数や学習スタイルに応じて自由にテーブルと椅子を組み合わせ、グループ討議などができます。「グループスタジオ」は、小グループで学習するのに適しています。「十全記念スタジオ」は、110名までのセミナーやシンポジウムなどに利用できます。また、旧医学図書館の書庫スペースは、「ブックラウンジ」に生まれ変わりました。天井の高い空間が広がり、飲食可能な憩いの場で、イベントや展示に利用できます。

附属図書館はこれからも時代の変化にアンテナを張り、図書館利用者のニーズに耳を傾け、進化しつづけていきます！

医学図書館開館を記念し
シンポジウム

附属図書館は、2013年3月に「図書館機能強化プログラム」シンポジウム「大学図書館における学習支援のこれから」を開催しました。これは、文部科学省2012年度「大学間連携共同教育推進事業」の採択事業「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」の一環で、県内の大学図書館が連携して機能強化を図っていくことを目的としたものです。

シンポジウムでは、各大学での先進的な取り組み事例などについての報告と、パネルディスカッションを行い、大学図書館における学習支援のあり方やラーニングコモンズの活用について、医学図書館に整備されたブックラウンジで意見交換を行いました。



「話」の空間、ブックラウンジで意見交換

金大生が紹介！

おすすめの1冊

『私を変えてくれた 患者さんのこの一言!』
(日本プライマリ・ケア学会 編
日本医事新報社 2007年)



鎌田 武人さん(医学類2年)

患者さんの一言に対する医療者の気持ちが見開き1ページごとにまとまっています。患者さんと医療者、お互いがこの本を読むことでそれぞれの気持ちを知ることができます。医療というものは心の通じ合いが重要なのだと思わせてくれる一冊です。

開館時間

■中央図書館(角間キャンパス)
平日/8:45~22:00 土日/9:00~17:00

■自然科学系図書館(角間キャンパス)
平日/8:45~22:00 土/10:00~17:00

■医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)
平日/8:30~22:00 土/10:00~16:00

●保健学類図書室
平日/8:45~22:00 土/10:00~17:00

学外の方もご利用いただけます。
詳細は、ホームページなどでご確認ください。

金沢大学 図書館

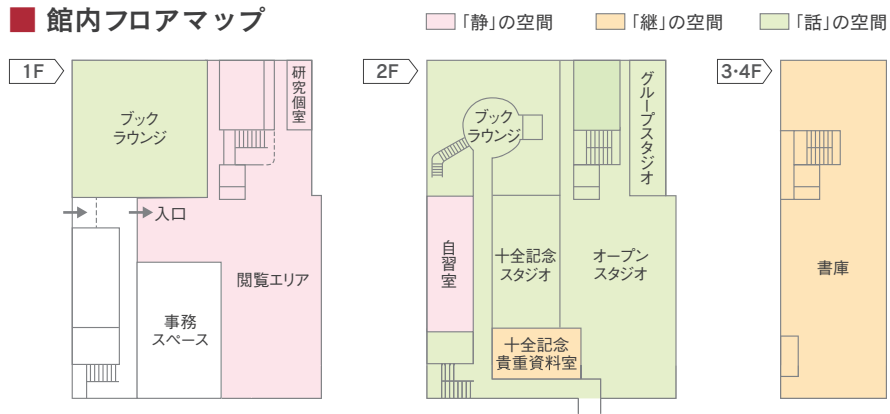
検索

医学図書館
床面積:3,185㎡
閲覧席数:335席
所蔵冊数:約24万冊
所蔵雑誌数:約7,700タイトル
所在地:金沢市宝町13-1
TEL(076)265-2141



(1F) 閲覧エリア

館内フロアマップ



附属図書館のウェブサイトリニューアル！

＼イチオシ情報は各館ページでチェック。／

中央図書館 | 自然科学系図書館 | 医学図書館 | 保健学類図書室

公式Facebookでの情報発信もスタート！

●図書館ウェブサイト

<http://library.kanazawa-u.ac.jp/>

●Facebook

<https://www.facebook.com/KanazawaUniversityLibrary>

今後もどんどん
情報を発信して
いきます。

連合大学院

2つ以上の大学が協力して教育研究を行う研究科をおく大学院組織。基幹となる研究科に組織を設置し、基幹校名義の学位が授与されます。

こころの相互認知科学講座を開設
連合小児発達学研究科金沢校
(大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学)

大阪大、浜松医科大とともに2009年度から展開してきた連合小児発達学研究科。12年度に福井大、千葉大が加わり、5大学の連合大学院となりました。各大学の強みや特徴を活かした講座を設け、大学院の教育・研究のレベルアップを図っています。

金沢校では“ヒトとヒト”との間に成り立つ関係性の研究を促進する「こころの相互認知科学講座」部門を開設し、自閉症を含む発達障害や人間関係から起こる適応障害などの研究教育を行っています。

博士後期課程3年をのみの大学院で、医学、心理学、保健学、看護学、教育学など異なる分野から学生を募集し、文理融合プラットフォーム[※]による教育を実施。幅広い視野と基礎知識を身につけ、「子どものこころの障害」に科学的知識をもって対応できる人材を養成します。

※異なった専門領域における教員・研究者が連携し、教育する場。

自然科学研究科

産のニーズと発想を身につけた新しい博士人材の養成

産学連携による博士人材の
キャリア形成教育プログラム

本学では科学技術振興機構「イノベーション創出若手研究人材養成事業」の採択を受け、博士後期課程においてイノベーション創出の中核となる若手研究人材を育成しています。さまざまなセミナーや海外研修、博士共生塾による工場見学、インターンシップにより、産業界など実社会のニーズを踏まえた発想や国際的な視野を身につけることができます。

キャリアデザイン協力研究室(OCL) ▶ 大学院博士後期課程学生やポストクの産業界への就職実績のある研究室および意欲のある研究室を「キャリアデザイン協力研究室」として認定します。

博士共生塾(DSC) ▶ 主体的に考え、動く力を鍛える自主自立のサークル的な集まりです。

共同大学院

共同教育課程を編成する大学院組織。すべての構成大学に組織を設置し、構成大学の連名で学位が授与されます。

実績を活かし最高水準の研究を行う
革新予防医科学共同大学院(仮称)
(金沢大学・千葉大学・長崎大学)

予防医学は高齢化に伴う生活習慣病の増加から、年々その重要性を増しています。本学は千葉大、長崎大と共同で、健康なうちから遺伝子解析で発症リスクのある病気を調べ、生活習慣病などの早期発見や先制医療につながる研究を行う「革新予防医科学共同大学院(仮称)」を2016年をめどに設置する予定です。

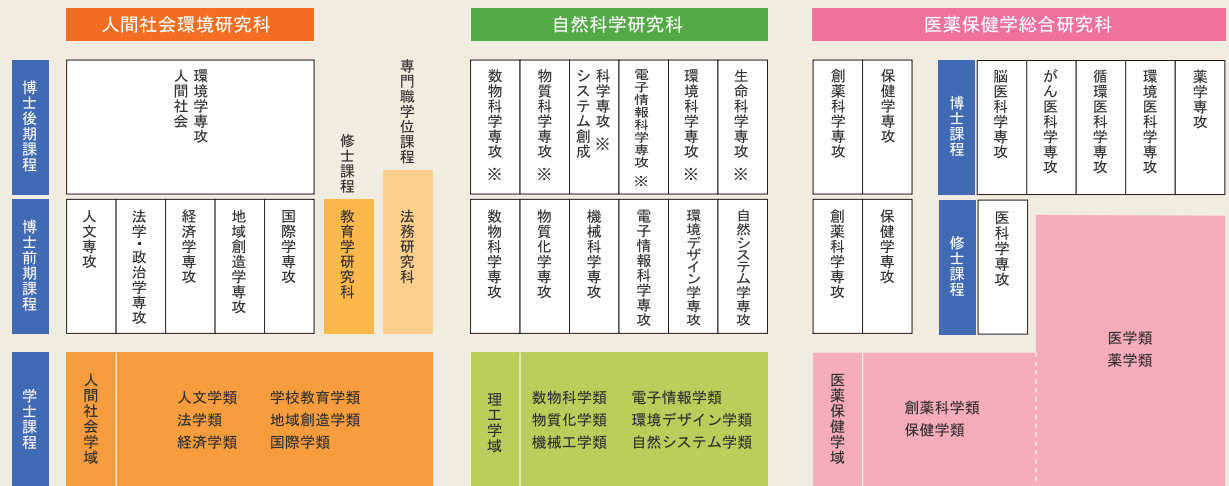
本学が取り組む、遺伝子型の特定で個人の体質や病状に

合った医療を行う「テラーメイド予防医学」をはじめ、3大学がそれぞれの得意分野や実績を活かし、予防精度の向上や国民のQOL(生活の質)の向上、医療費の削減をめざします。国内最高水準の研究者をそろえる予防医科学分野の大学院として世界的教育研究拠点を形成し、一層の発展を図ります。

この事業は本学が代表大学を務め、大学間の連携推進などを目的とした2012年度文部科学省「国立大学改革強化推進事業」として採択されています。

本学では、この事業を推進するため、2013年7月に革新予防医科学教育研究センターを設置しました。

金沢大学大学院構成図



※自然科学研究科博士後期課程は2014年度に改組予定です。

21世紀を切り拓く
金沢大学の大学院

人間社会環境研究科

国際チームで「研究室」と「フィールド」を往還して学ぶ

文化資源マネージャー養成プログラム

伝統文化を未来に継承

優秀な学生を産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーに導くことを目的とする文部科学省事業「博士課程教育リーディングプログラム」。2012年度には全国から70大学、124件の応募があり、本学の「文化資源マネージャー養成プログラム」を含めて17大学、24件が採択されました。

本学のプログラムは、人類文化の多様性を尊重しながら、世界各国・各地域で継承されてきた文化資源の将来に向けた意義と有用性を探究し、活用策を創案・実践する人材、「文化資源マネージャー」を養成することを目的としています。

文化を五感で感じ取る

このプログラムでは本学がこれまで交流を積み上げてきた中国・北京大学、タイ・チェンマイ大学、インドネシア・バンドン工科大学、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校のアジア4カ国をそれぞれ代表する大学からの留学生と

日本人学生がチームを組んで学ぶことで多文化共生を実践し、未来のリーダーの国際ネットワークを築いていきます。5年間を通じて研究室とフィールドを何度も往還しながら文化資源の継承・活用に取り組みます。

「文化を学ぶには、書物を読むよりも実際に文化が生きているその土地に赴き、学生が五感で感じ取ることが大切です」(鏡味治也人間社会環境研究科長)

海外フィールドとして、今年はホンジュラス共和国の世界遺産・コパンでの研修・調査を予定しています。このような実践的な研究で身につけた現場感覚と、5年間のチーム学習で培った緊密な国際ネットワークを背



景に、修了生は出身各国の文化行政や、ユネスコをはじめとする国際文化機関、博物館などでの活躍が期待されます。



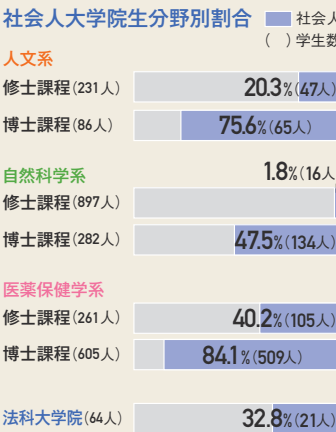
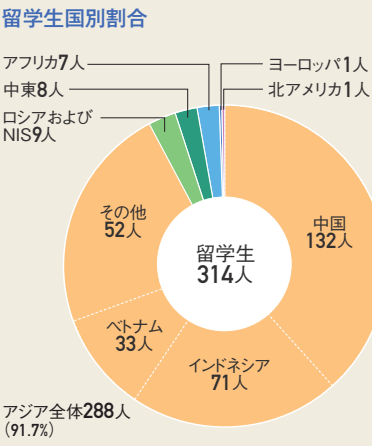
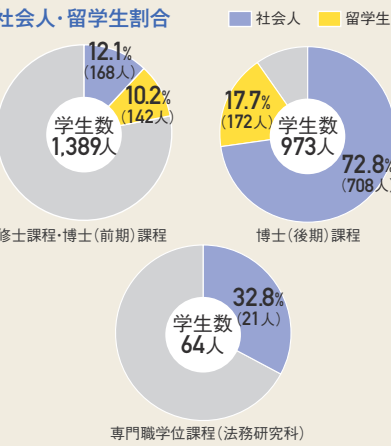
研究室では英語が共通語。研究を発表し、議論を行う

履修する学生の声 voice

伊藤 梢さん (石川県出身)
さまざまな留学生と日常的に交流が持て、活動の幅が広がることからこのプログラムを志望しました。今後5年間で日本人の美意識などを研究したいと考えています。

五木田 まきはさん (千葉県出身)
将来、文化遺産・資源を保存・活用する職業に就くのが夢です。マヤ文明に興味があり、これまであまり光の当たらなかったマヤの一般の人々の生活を調査したい。

金沢大学大学院
気になる数字
2013年5月1日現在



学生留学生宿舍「先魁」



2012年10月、角間キャンパスに誕生した学生留学生宿舍「先魁」。日本人学生と外国人留学生がともに生活し交流できる、グローバル人材育成の場です。2階建ての住居棟5棟には8人が共同生活するシェアハウスが13ユニットあり、各ユニットの共用部分にはキッチン、洗面、トイレ、シャワールームのほか、冷蔵庫や電子レンジ、掃除機などの電化製品も完備。専用の個室には机、

本棚、クローゼット、ベッド、寝具がそろいます。住居棟に隣接した交流ホールには木の机、椅子、ホワイトボードがあり、ハウスミーティングや気軽な座談会など交流の場となっています。入居している留学生の国籍は多彩で、中国・インドネシア・ベトナムなどのアジア諸国をはじめ、遠くはブラジル、フィリピンなど21カ国に及びます。日本人学生はレジデントアドバイザー（留学生の生活指導者）として、生活上のアドバイスや通訳で留学生をサポート。ハウスミーティングをこまめに開いたり、イベントに声をかけあって参加したりと、国籍を超えた絆がはぐくまれています。



交流ホールでミーティング



パーティーでお国自慢!

問い合わせ

学生部学生支援課学生相談係

TEL (076) 264-5168 FAX (076) 234-4040

E-mail: soudan@adm.kanazawa-u.ac.jp

フェアトレードで国際協力 KuLOs



KuLOsの活動はここで!

<http://kulos.jimdo.com/>

仲間と過ごす時間は、
未来へ続くネットワーク。

金沢大学学生支援サイト サークル活動
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/12.html>

「何事も挑戦!」先輩から受け継いだこの精神で活動を続けてきたフェアトレード推進サークルKuLOsは、2013年6月で結成4年目を迎えた。部員数は現在20人で、創部のきっかけは、大学の講義でフェアトレードについて学んだこと。商品は食品から衣類まで幅広く、手作りや質が良いのが特徴で、「手軽にできる国際協力」という点が魅力だった。

当初は仕入れや販売の仕方など右も左も分からず試行錯誤の連続だったが、今ではポスターの制作や

販売活動も手慣れたもの。仕入れ先から現地の状況を聞き、商品に携わる生産者のことも意識できるようになったという。「まずはできることから」と、地道に楽しみながら活動を続け、中央図書館内の「ほんわかふえ。」での委託販売を実現させた。創部時のメンバーで前代表の鍋田あゆみさん（国際学類4年）は、「留学から帰ってきたら学内でフェアトレードのコーヒーやチョコプレートが販売されていて驚きました」と後輩の活躍に目を見張る。

今後は、「他大学のサークルとも情報交換しながら『身近な国際協力』を広げていきたい」と代表の毛利良徳さん（国際学類3年）は語る。チャレンジ精神を身につけ、勢いを増す彼らから目が離せない。

※ 立場の弱い生産者の生活向上や自立を目的に労働に見合った適正な価格で取引を行う活動。

Circle introduction

サークル紹介



学生リユース市に向け知恵を出し合う

ものの大切さを伝えたい、少しでもゴミを減らしたい、という思いから始まった「学生リユース市」。毎年3月に卒業で不要となった家具・電化製品などを市価の1/2割で新入生に提供するイベントで、セカンド・ユースは、これを運営するサークルだ。卒業生は家具を処分する手間が省け、新入生は新生活にかかる費用の負担が軽くなるため、毎回開始時間前からずらりとお客さんが並ぶ。「期待感が伝わってきて、モチベーションが上がります」とメンバーの

大勢のお客さんを手際よく誘導

リサイクルで卒業生と新入生をつなぐ セカンド・ユース

セカンド・ユースの活動内容はここで!

<http://reuse.blog.shinobi.jp/>



金沢大学基金

金沢大学では国際色豊かな教育環境を生み出すため、海外協定校への学生派遣及び海外からの留学生受入支援を重点的に強化することを目的とし、2012年5月30日に「創基150年記念留学生支援キャンペーン寄附募集」を開始しました。

2013年5月末までにいただいたキャンペーンへの寄附総額は、54,926,753円となりました。賛同いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

キャンペーン期間中、寄附いただいた方には記念クリアファイルを進呈しています。ファイルは全8種類で、金沢大学附属図書館所蔵「儀式風俗図繪」のうちの8作品がそれぞれ色鮮やかに描かれており、大変好評です。

寄附者別一覧 (2013年5月末日現在)

創基150年記念留学生支援キャンペーン寄附を含む

区分		延べ件数	金額(円)
学内	学長・理事	61	7,010,000
	教員	178	8,232,000
	事務職員	164	4,135,000
	技術職員	33	7,705,000
	在学生	39	497,000
	小計	475	27,579,000
学外	退職教員	72	25,505,000
	退職事務・技術職員	237	5,250,000
	卒業生	2,496	41,636,860
	学生の保護者	383	5,879,000
	法人等	348	84,542,675
	その他(一般)	38	684,500
	小計	3,574	163,498,035
合 計		4,049	191,077,035

※ 利息は「法人等」に含む

「基金ニュース」発信中!

基金の受入状況やトピックス等を掲載した「基金ニュース」を毎月発行しています。電子メールで配信しています。ご希望の方はご連絡ください。

金沢大学基金室

〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL (076) 264-5075 FAX (076) 234-4015
E-mail: kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://www.kikin.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>

クレジットカード及びインターネットバンキング決済を導入
金融機関などに出向くことなく、パソコンから入力するだけで寄附手続きが可能となりました。
詳細は、「基金ニュース」、または金沢大学基金ホームページでご確認ください。

■ 取り扱いクレジット会社



記念クリアファイル

金沢大学基金「創基150年記念留学生支援キャンペーン寄附募集」の開始から1年が経ちました。基金の現状を報告します。

February 2月

2/5 共通教育機構がなんでも相談員表彰式を実施
 なんでも相談室の学生ボランティア9名に表彰状が授与されました。

P12に関連記事

2/21 イノベーションフォーラム2013を開催

2/24 小松市と連携協定1周年記念シンポジウムを開催

2/25・26 入学試験前期日程を実施
 合格発表は3月8日。後期日程の入学試験は3月12日、合格発表は3月22日でした。



2/27 北陸銀行若手研究者助成成果報告会を開催

2/27 法科大学院開設10周年記念特別講演会を開催

3/21 医薬保健学域薬学類が「白衣式」を挙行



3/23 「能登いきものマイスター」養成プログラム最後の修了式を挙行
 3年間で18名のマイスターが巣立ちました。

3/28 課外活動貢献者感謝状贈呈式を挙行
 茶道部を10年以上継続して指導・支援された、裏千家茶道準教授の大島宗広氏に感謝状を贈呈しました。

April 4月

4/2 里山サークルRaccoonと環境保全センターが「通学路クリーン作戦」を実施

4/4 新任教員説明会を開催

2/28 「里山里海プロジェクト」シンポジウム(奥能登編)を開催

March 3月

3/4 テニユアトラック制度シンポジウムを開催
 文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニユアトラック普及・定着事業」の一環で、テニユアトラック教員らが研究成果を発表しました。

3/9 「大学間連携共同教育推進事業」採択事業スタートアップ・シンポジウムを開催
 県内19の高等教育機関が連携し、「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」に取り組みます。

3/14 医学図書館がリニューアルオープン
 P14・15に関連記事



4/7 平成25年度入学宣誓式を挙行
 P4・5に関連記事

4/17・18 北陸地区国立大学法人等初任者研修を開催

4/23 保健管理センターが食育プログラム「野菜たっぷり簡単朝食スープ試食会」を開催
 学生支援の一環として、スープとレシビを提供しました。

4/26 中村学長が石川県立金沢錦丘高等学校で講演
 「自分を動かしてきたもの」と題し、学ぶ大切さを語りました。

4/27 附属病院が「金大病院CPDセンター完成記念式典」を挙行
 県内の医療人に係る専門能力の開発や生涯教育の充実を図ります。



トレーニングシミュレーターをお披露目

卒業

3/5-13 平成24年度附属学校卒業式・修了式
 附属幼稚園52名、附属小学校112名、附属中学校155名、附属高校123名、附属特別支援学校20名(小学部5名、中学部6名、高等部9名)が修了・卒業を迎えました。

3/22 平成24年度学位記・修了証書授与式
 卒業生1776名、修了生778名に学位記・修了証書が授与されました。



May 5月

5/12 七尾市と連携協定1周年記念シンポジウムを開催

5/18 平成24年度学長研究奨励費研究結果発表会を開催
 P6・7に関連記事

5/14-23 附属図書館が「日・EUフレンドシップウィークイベント」を開催
 セミナーや資料展でEUへの理解を深めました。5月14日にはアイルランド大使館副代表のドナル・ケニアリー氏が講演しました。



講演するドナル・ケニアリー氏

5/20 「学長と歩こう! 角間の里山」を実施

5/20-22 附属図書館が「ブックリユース市」を開催

5/29 第1回図書館ビブリオバトルを開催



5/31 名誉教授称号記授与式を挙行
 「明後日朝顔プロジェクト金沢」金沢大学中央図書館「苗植え式」を開催



5/29-30 医薬保健学域薬学類・創薬科学類附属薬用植物園がシャクヤク観察会を開催
 金大生協と協力し、薬用植物園内のハーブを使用したバスタも販売しました。

EVENT CALENDAR

お気軽に
ご参加ください

★マークはサークルのイベント。（ ）は開催場所です。
※マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。
特に明記がないものは金沢大学キャンパスで開催します。

7月

- 5 学際科学実験センターシンポジウム
- 6 ピアノの会サマーコンサート（金沢21世紀美術館）★
- 6 フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサート（金沢歌劇座）★
- 10-9/27 資料館企画展「Wall Chart Arts（ウォール・チャート・アーツ）－教育掛図のイメージ」
- 14-8/4 公開市民講座「資源化される文化」※

公開市民講座「資源化される文化」（全4回）

会場：金沢大学サテライト・プラザ
受講無料 各回先着100名
申込URL <http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/crc/>

日程／
7/14 第1回
「文化遺産から文化資源へ」
7/20 第2回
「文化資源学から見た仏教美術資料」
7/27 第3回
「ヨルダンの文化資源学」
8/4 第4回
「文化資源と文化の研究」



- 19 金沢大学薬学シンポジウム2013
「－創業動態フォーラム－ in 金沢」
- 20 附属図書館公開シンポジウム「里山×里海×文学」
- 30 ひらめき☆ときめきサイエンス（保健学類）

8月

- 5-7 附属図書館ECO学習なんでも相談会
- 6 理学の広場
- 7 小・中学生のためのものづくり教室
- 8-9 オープンキャンパス
- 14-16 夏季一斉休業

- 25 石川県がん診療連携協議会県民公開講座
（小松芸術劇場うらら）

9月

- 17 6大学合同新技術説明会（東京・JSTホール）
- 20 脳・肝インターフェースメディシン研究センター
シンポジウム
- 21-23 鉄道愛好会鉄道模型運転と写真展示 ★※
- 26 9月期学位記授与式
- 30 後期授業開始

10月

- 12 未来開拓研究公開シンポジウム
（金沢市文化ホール）

Features for the Future 第6回未来開拓研究公開シンポジウム 「大学を、超えていく。－東アジアの知の拠点－」

日時／10月12日（土）13時30分開会
場所／金沢市文化ホール（金沢市高岡町15番1号）



- 12-12/7 金沢大学 東京都中央区連携講座
（東京・中央区役所築地社会教育会館）
- 26・27 開校記念祭（附属高等学校）
- 下町・上町 資料館写真展「よみがえる城内キャンパス」
（金沢城公園）

11月

- 2-4 金大祭
- 2 第7回ホームカミングデイ
- 2 創基150年記念植樹
- 2 ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
- 2・3 医学展
- 2-12/7 法科大学院生による無料法律相談※
- 16 北陸4大学連携まちなかセミナー※
- 30 マンドリンクラブ定期演奏会（金沢市文化ホール）★

12月

- 21 Modern Jazz Society 定期演奏会（石川県立音楽堂）★
- 23 吹奏楽団定期演奏会（金沢歌劇座）★

公開講座

地域の皆さまの生涯学習をお手伝いいたします。

- 7/6-13 コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座
初級コース
- 8/9 調理の科学※
- 8/26・27 聴覚障害児を指導する教員のための手話講座
- 8/31 ロコモティブ・シンドロームを予防し転倒しない
身体をつくる
- 9/28-10/5 石川のきのこ学習会
- 10/12 イスラム世界の歴史と文化
－イスラム文化の独自性と文化交流－※
- 10/12-11/9 健康維持・増進に役立つ「まちなか保健室」活用術
- 11/7-21 広報を構成する 広報力を高める※
- 11/20-27 判例から考える学校における事故※
- 2/17-19 薬局見学・体験ツアー

問い合わせ

金沢大学地域連携推進センター
TEL (076)264-5272・5273 FAX (076)234-4045
E-mail : kaihou@adm.kanazawa-u.ac.jp
http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

DATA NOTE

大学間交流協定

- 2月 ■ホンジュラス・ホンジュラス国立人類学・歴史学研究所



パレーデス所長（左）と中村学長（右）

- 3月 ■スペイン・サラマンカ大学
- スペイン・サンティアゴデコンポステーラ大学

- 4月 ■インドネシア・国立マラン大学
- オーストラリア・ニューイングランド大学

- 5月 ■インドネシア・マハシユトラ大学
- オーストラリア・マッコーリー大学

部局間交流協定

- 3月 ■ベトナム・ベトナム社会主義共和国資源環境省ベトナムで米軍が使用の有毒化学物質による被害克服の国家対策委員会（医薬保健学域）

- 4月 ■ベトナム・ハノイ国立小児病院、小児保健研究所（医薬保健研究域）

その他の連携・協定

- 2月 ■北陸3県6大学（富山・金沢医科・金沢・金沢工業・北陸先端科学技術大学院・福井）で北陸臨床研究推進機構に関する合意書を締結

- 3月 ■国立6大学（千葉・新潟・金沢・岡山・長崎・熊本）で包括連携協定を締結



左から齋藤千葉大学長、下條新潟大学長、中村学長、森田岡山大学長、片峰長崎大学長、谷口熊本大学長

- 5月 ■星薬科大学と学生交流に関する協定を締結
- 国際ロータリー第2610地区と海外派遣事業に関する覚書を締結
- 千葉大学、長崎大学と革新予防医科学共同大学院設置に向けた連携協定を締結

受賞

- 2月 地域づくり総務大臣表彰
試験研究機関表彰

「能登里山マイスター」養成プログラム運営委員会

4月 文部科学大臣表彰

科学技術賞（開発部門）

理工研究域数物科学系・

安藤敏夫教授、内橋貴之准教授

理工研究域バイオAFM先端研究セン

ター・古寺哲幸准教授

業績名「高速原子間力顕微鏡の開発」

科学技術賞（研究部門）

医薬保健研究域医学系・櫻井武教授

業績名「オレキシンの発見とその作用

の解明の研究」

若手科学者賞

理工研究域自然システム学系・

山田敏弘准教授

業績名「化石と分子生物学を融合した

被子植物の起源についての研究」

平成25年秋の叙勲

瑞宝双光章（文部行政事務功労）

・高島尚之 元医学部附属病院事務部長

瑞宝双光章（保健衛生功労）

・山本友行 元診療放射線技師長

全国発明表彰

特別賞（発明協会会長賞）

理工研究域数物科学系・安藤敏夫教授

功績名「生体分子の動きも観られる高

速原子間力顕微鏡の発明」

発明実施功績賞

中村信一学長

発明賞

医薬保健研究域医学系・

金子周一教授、酒井佳夫准教授

保健学系・本多政夫教授

附属病院・山下太郎助教

功績名「血液による消化器がんの検査方法の発明」



全国発明表彰式の様子

研究・教育実績

3月

文部科学省国立大学改革強化推進事業「真の疾患予防を目指したスーパードラッグの発見に関する3大学（千葉・金沢・長崎）革新予防医科学共同大学院の設置」に採択

論文引用数

学術論文被引用数国内20位

【分野別】

薬学・毒性学（国内第6位）、神経科学・行動科学（国内9位）、臨床医学（国内12位）、地球科学（国内13位）

科研費・採択件数

平成25年度科研費新規採択件数ランキング17位

新規257件（交付金額6億7639万円）、新規および継続合計727件（交付金額17億7203万円）が採択



金沢大学標石

Acanthusとは

古代ギリシャ・ローマに由来する植物で、和名を葉薊（ハアザミ）といいます。金沢大学校章のモチーフとなっていることから、キャンパス内施設に名称が使われるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれています。

〔表紙写真〕

本部棟前並木道（角間キャンパス）

右奥に見えるのは自然科学棟。サクラやカツラの並木に癒されながら道を下ると、金沢大学標石が見えてきます。モデルは本学学生の皆さん。



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>